

心房細動に高血圧が合併すると 脳卒中リスクが増大します。

心房細動は、人口高齢化の進展とともに増加し、日本では2050年には100万人を突破すると予測されています。また、高血圧はその約50%に合併しており、脳卒中や塞栓症のリスクを増大させることが知られています。

さらに、抗凝固薬を使用している心房細動患者さんでは、血圧レベルの上昇に伴って出血性脳卒中の発症率は上昇することが明らかにされています。

今回は、心房細動合併高血圧、抗血栓薬使用患者さんに対する降圧管理の知見と、長期にわたって厳格な降圧が期待できる、アダラートCR錠80mg/日の有用性について紹介します。



心房細動 100万人超 (2050年推計)



発症率

脳出血
のリスクが上昇

血圧レベル

Inoue H, et al. Int J Cardiol 2009; 137: 102-107 心房細動治療(薬物)ガイドライン(2013年改訂版)

抗血栓薬使用中の心房細動患者では厳格な血圧管理が不可欠

「高血圧治療ガイドライン2014 (JSH2014) 第3章7節4項 抗血栓薬服用中の高血圧患者の血圧管理」

抗血栓薬使用中の高血圧患者では頭蓋内出血を予防するために、130/80mmHgを目途に降圧し、可能であれば130/80mmHg未満を目指して慎重にさらなる降圧を図ることが望ましい。



久留米大学医療センター 循環器内科 教授 甲斐 久史 先生のご紹介

経歴

- 昭和 53年 3月 福岡県立修猷館高校卒業
- 昭和 59年 3月 九州大学医学部 医学科 卒業
- 6月 九州大学医学部 循環器内科
- 平成 元年 6月 九州厚生年金病院 循環器科
- 平成 2年 6月 九州大学医学部 循環器内科
- 平成 4年 9月 アメリカ合衆国エモリー大学医学部 客員研究員(心臓病部門)
- 平成 7年 4月 聖マリア病院 循環器科
- 11月 久留米大学医学部 第三内科 助手
- 平成 10年 8月 久留米大学医学部 第三内科 講師
- 平成 12年 12月 久留米大学医学部 第三内科 助教授
- 平成 19年 4月 久留米大学医学部 内科学講座(心臓・血管内科部門) 准教授(講座名・職名変更)
- 平成 24年 4月 久留米大病院 医療安全管理部 副部長(兼任)(~平成27年7月)
- 平成 27年 8月 久留米大学医療センター 循環器内科 教授(~現在)
- 平成 28年 4月 久留米大学医療センター 副院長(~現在)

所属学会等

- 日本内科学会(認定内科医、内科学会指導医)
- 日本循環器学会(社員、循環器専門医)
- 日本高血圧学会(監事、評議員、高血圧専門医、高血圧指導医、特別正会員(FJSH)、日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン JSH2009 作成委員、日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン JSH2014 作成(執筆)委員)
- 日本心血管インターベンション学会(認定医)
- 心臓血管カテーテル治療学会(腎神経アブレーション治療 3学会合同委員会ワーキンググループ委員)
- 心不全学会(評議員)
- 日本老年医学会(評議員、老年医学会研修指導医)
- American Heart Association (International Fellow, Council for High Blood Pressure Research)
- 医療の質・安全学会
- 日本医療安全学会(代議員)
- 日本医療マネジメント学会
- 日本心臓リハビリテーション学会(評議員)
- Korean Society of Cardiology (Honorary member)
- 医療系大学間共用試験実施評価機構(共用試験医学系 OSCE 評価者(胸部))